

Financial Results for the First Half of 2023

2023年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社 船場 証券コード：6540

1

決算の状況（2023年12月期第2四半期）

2

通期業績見通し

3

トピックス

4

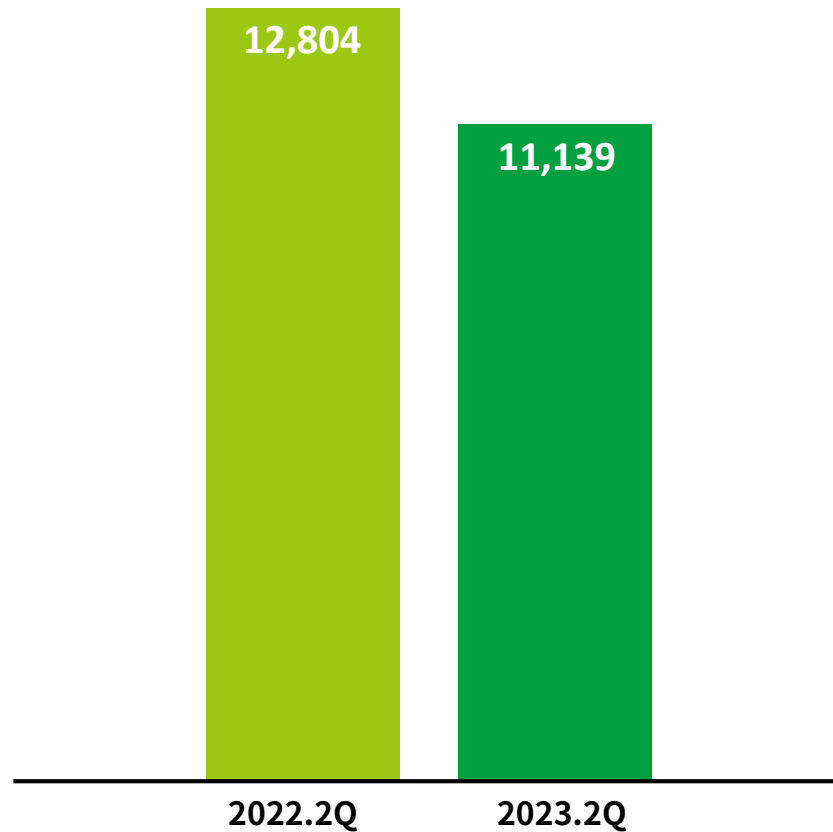
補足説明資料

1

決算の状況（2023年12月期第2四半期）

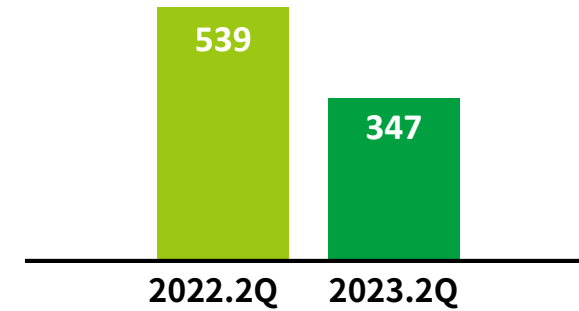
業績ハイライト

売上高[単位：百万円]



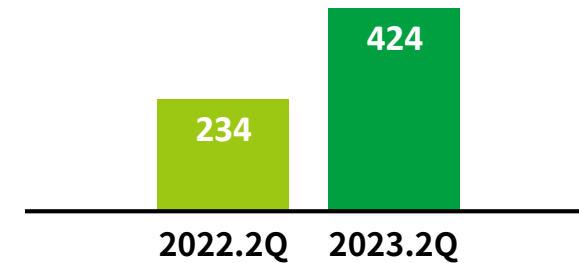
予算通りの進捗ではあるが、前年は上期に大型物件が集中し売上は上期偏重型だったこともあり、減収。

営業利益[単位：百万円]



売上高減少に伴う利幅の縮小の影響が大きく減益。

親会社株主に帰属する四半期純利益[単位：百万円]



清算手続き中の海外グループ会社の不動産売却に伴う特別利益の計上等もあり、増益。

連結損益計算書

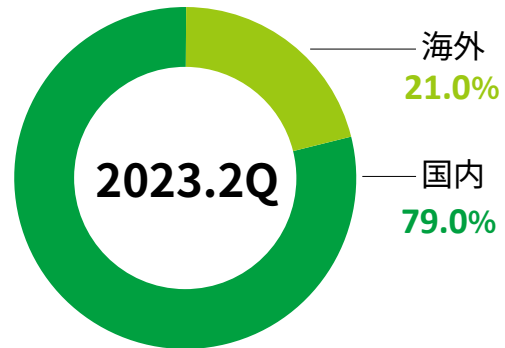
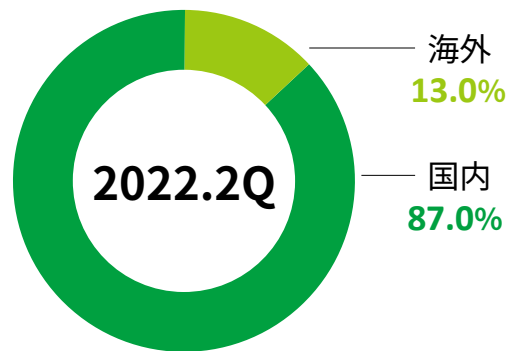
	2022.2Q		2023.2Q			ポイント
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比	前年同期比	
売上高	12,804	100.0%	11,139	100.0%	87.0%	専門店、オフィス・余暇施設等での売上高が減少し減収
売上総利益	2,061	16.1%	1,958	17.6%	95.0%	工事原価の低減、DX推進等による生産性向上により利益率は改善するも、売上高減少により減益
販管費	1,521	11.9%	1,611	14.5%	105.9%	昇給や賞与積み増しなどの人件費増加、DX推進によるIT費用の増加に伴うもの
営業利益	539	4.2%	347	3.1%	64.3%	売上総利益の減少及び販管費増加による減益
経常利益	527	4.1%	452	4.1%	85.7%	為替差益の計上もあったが、営業利益の減少による減益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	234	1.8%	424	3.8%	180.8%	固定資産売却により増益

連結売上高：国内・海外売上内訳

海外売上は大きく伸長

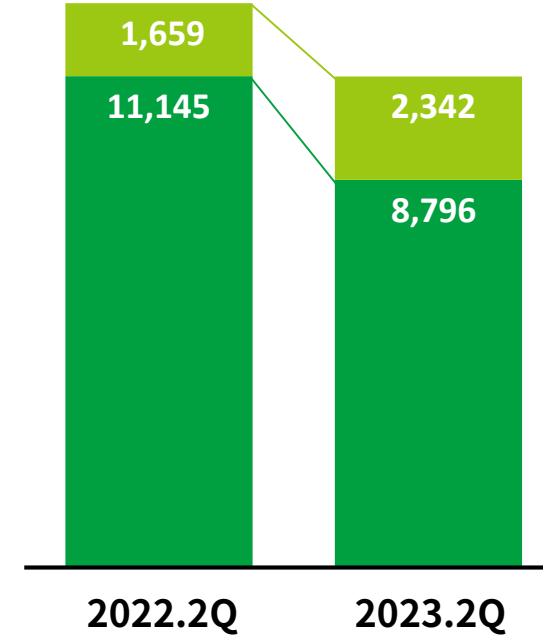
売上構成比

■：国内 ■：海外



売上額推移

[単位：百万円] ■：国内 ■：海外



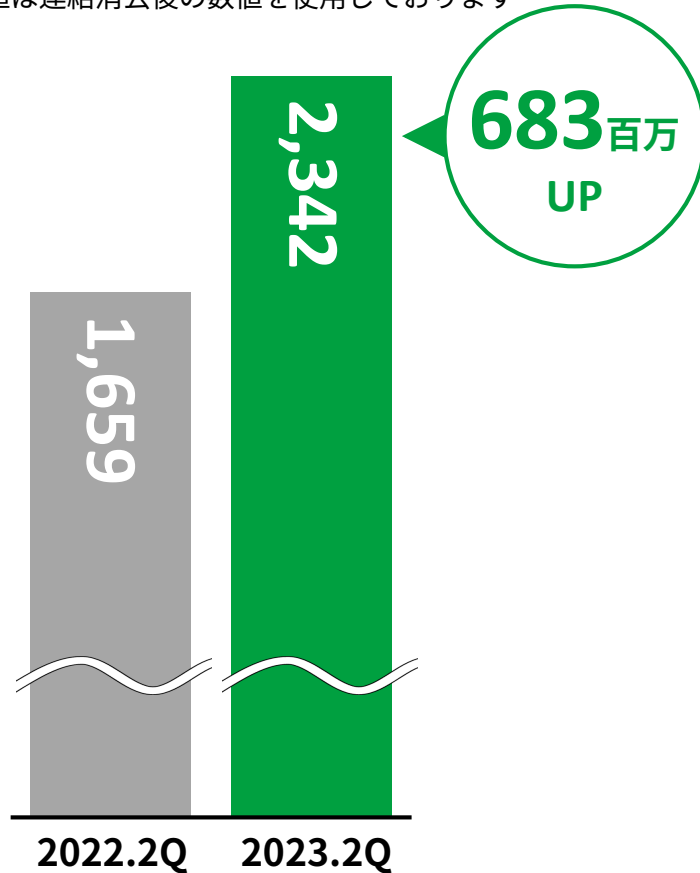
海外連結子会社別売上高



海外売上額推移

[単位：百万円]

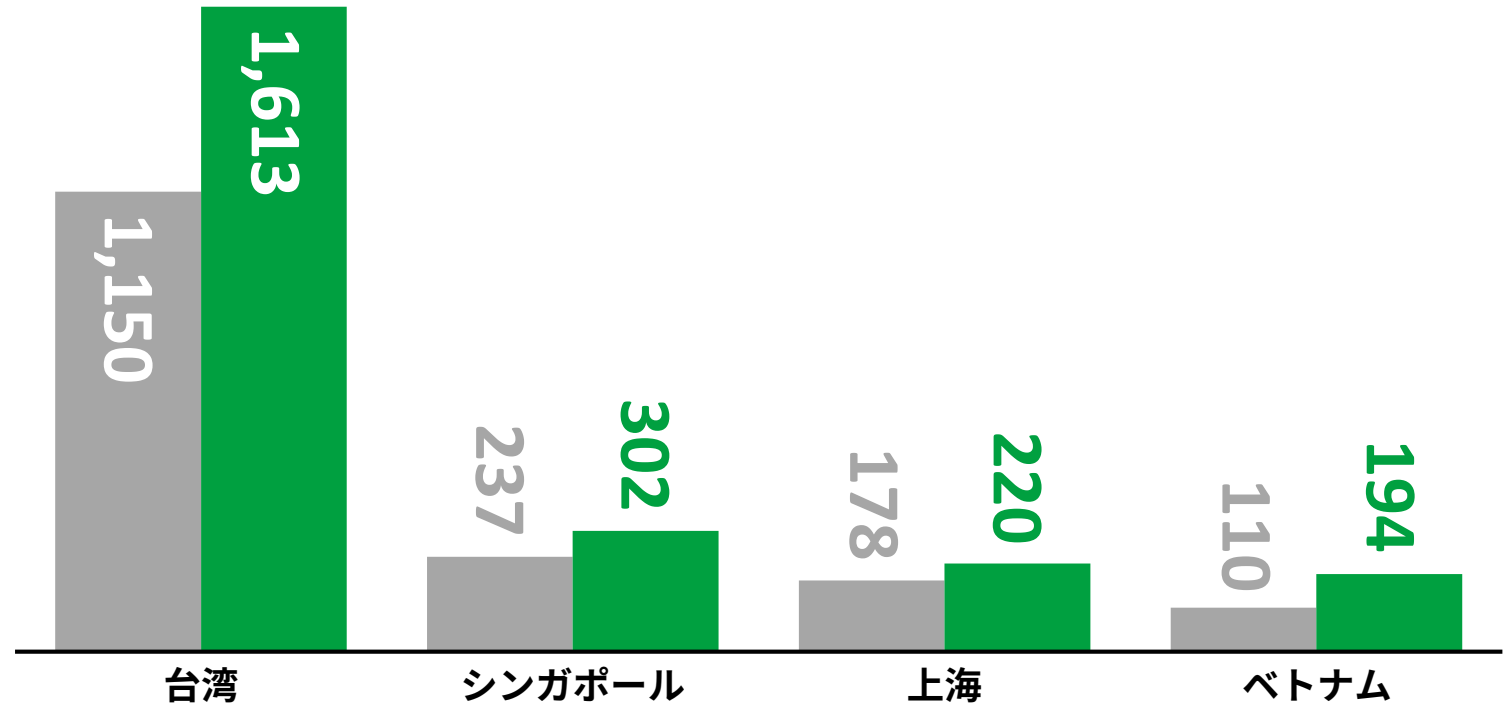
注：数値は連結消去後の数値を使用しております



地域別 売上額推移

[単位：百万円] ■：2022.2Q ■：2023.2Q

注：海外各社の売上高は連結消去前の数値を使用しております



注：適用為替レートは18ページの補足説明事項をご覧ください。

連結貸借対照表

	2022.12末		2023.6末		前期末比	ポイント
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比		
流動資産	15,672	90.3%	15,809	90.7%	100.9%	売上債権などの減少、棚卸資産の増加により1億37百万円増加
固定資産	1,676	9.7%	1,621	9.3%	96.7%	有形固定資産の売却などにより55百万円減少
資産合計	17,348	100.0%	17,431	100.0%	100.5%	
流動負債	5,808	33.5%	5,658	32.5%	97.4%	仕入債務の増加、営業収益の減少に伴う未払法人税等・未払消費税等などの減少により1億49百万円減少
固定負債	314	1.8%	227	1.3%	72.3%	退職給付に係る負債の減少などにより87百万円減少
負債合計	6,123	35.3%	5,886	33.8%	96.1%	
純資産	11,225	64.7%	11,545	66.2%	102.8%	配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他の包括利益累計額の増加により3億19百万円増加
負債純資産合計	17,348	100.0%	17,431	100.0%	100.5%	

連結キャッシュ・フロー

	2022.2Q	2023.2Q		ポイント
	金額[百万円]	金額[百万円]	前年同期差額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,606	241	▲1,365	税金等調整前四半期純利益の計上、法人税等の支払いなどにより2億41百万円の収入
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲41	95	137	固定資産売却などにより95百万円の収入
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲257	▲339	▲82	配当金の支払などにより3億39百万円の支出
現金及び現金同等物 増減	1,445	115	▲1,329	
現金及び現金同等物 期首残高	8,656	9,561	905	
現金及び現金同等物 四半期末残高	10,101	9,676	▲424	前年同期末に比べ4億24百万円減少

受注残高：市場分野別

注力分野の受注残が大幅に増加

2023年第2四半期 受注残高

市場分野	金額[百万円]	前年同期比
専門店	783	50.5%
大型店・複合商業施設	3,454	163.1%
注力分野（オフィス、余暇施設等）	2,270	418.5%
計	6,507	154.5%

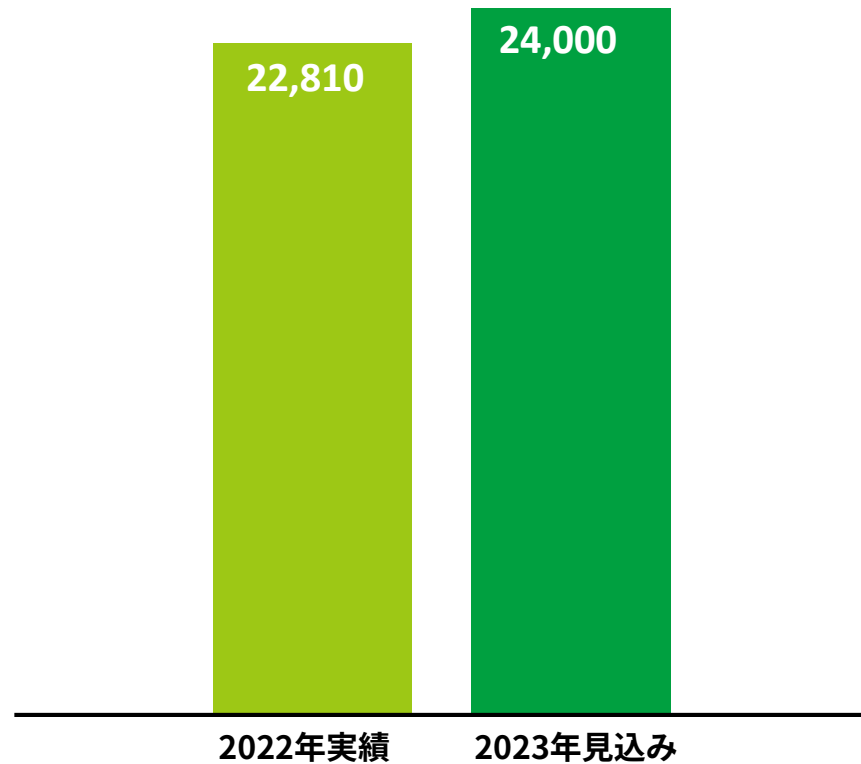
2

通期業績見通し

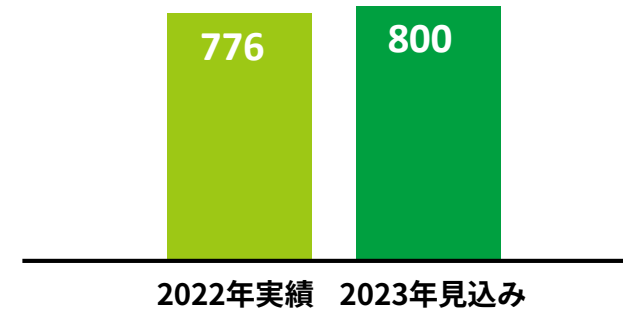
通期見通し

当期純利益は当初計画から2億円の増益を見込む

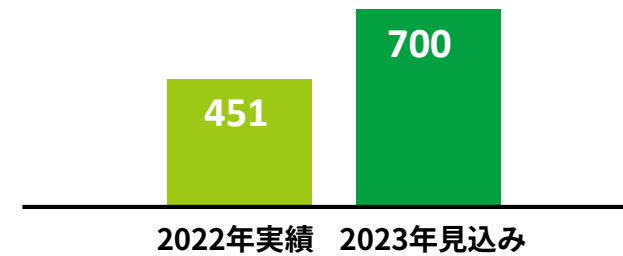
売上高[単位：百万円]



営業利益[単位：百万円]



当期純利益[単位：百万円]



配当計画

昨年より2円増配予定

1株当たりの年間配当金

35円

配当性向

51.5%

株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえ

今後の経営環境や財務の健全性維持及び企業価値の持続的な向上等を総合的に勘案し、上記の年間配当金を予定します。

3

トピックス

サステナブルな店づくりで内装工事でリサイクル率100%を達成 KISARAZU CONCEPT STORE

本施設はファッションを楽しむテーマパークであり、業界に先駆けファッション業界の余剰在庫の課題解決を目指す実験場です。当社は、これまで培ってきた商業施設開発のノウハウと、人や地域社会、自然環境へ“おもいやり”の視点を持つ「エシカルデザイン」を掛け合わせ、「みんなで新しいサイクルをつくる店」という施設コンセプトを体現する**持続可能な施設づくりを行い、内装工事で排出される産業廃棄物のリサイクル率100%を実現しました。**

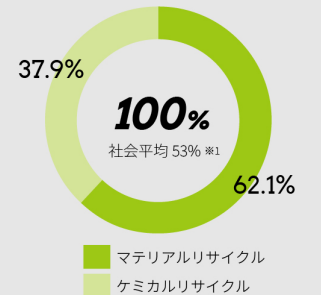


リサイクルレポート

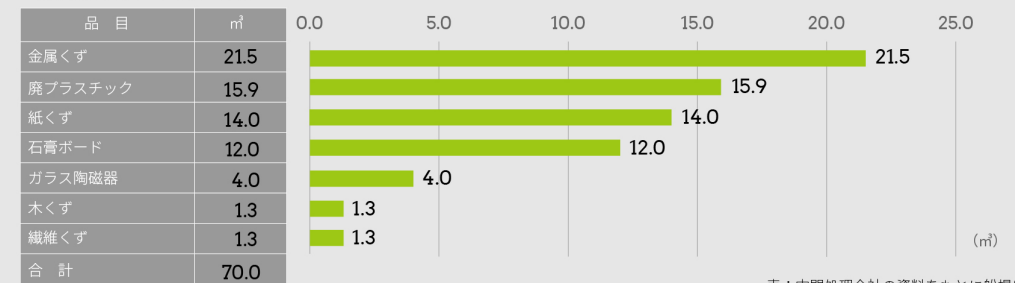
KISARAZU CONCEPT STORE 内装工事

- 処理委託期間 2023年1月10日～2023年5月31日
- 排出量 70.0㎡
- マニフェスト交付数 23枚

※1 出典：環境省 令和4年度事業 産業廃棄物排出・処理状況調査報告書 令和3年度速報値



■品目別排出量 (C工事)

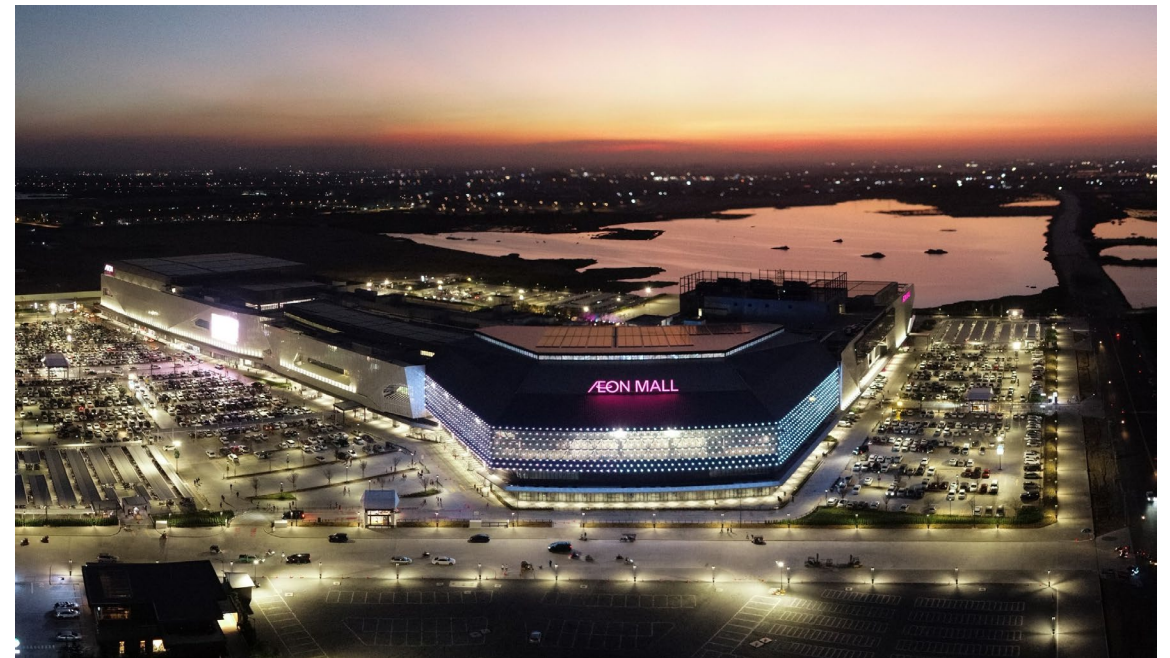


表：中間処理会社の資料をもとに船場にて作成

所在地：千葉県木更津市
 クライアント：三井不動産株式会社
 プロデュース・ディレクション：株式会社スマイルズ
 担当業務：内装設計、施工、外装デザイン（ノンスケール株式会社）

環境保全と社会に貢献する発展途上地域の生活インフラ AEON MALL Mean Chey

カンボジアの首都プノンペンのサブセンターに位置し、アクセス性と利便性に優れた、**カンボジア最大規模のショッピングモール**（総賃貸面積約10万平米）。建築物の持続可能性と環境性能を評価する**国際的な基準「グリーン環境性能評価基準EDGE」**を取得するなど環境に配慮した持続可能な地域社会の実現に貢献しました。また、デジタルビジョンを各エリアに導入し、施設自体が大空間演出や情報発信ができる環境となり、デジタル技術の先駆者としても注目を集めています。

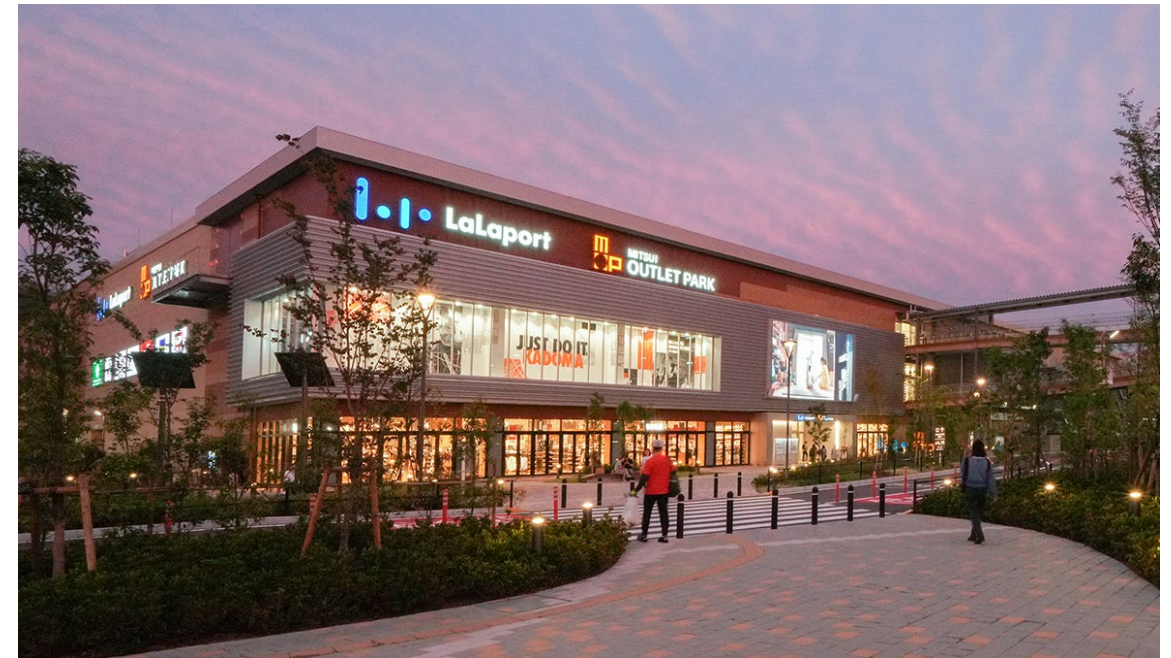


所在地：カンボジアプノンペン
クライアント：AEON MALL (Cambodia) Co., Ltd
担当業務：マスタープラン、内外装環境デザイン・設計、内装監理

三井不動産初の2業態複合型商業施設

三井ショッピングパーク ららぽーと門真・三井アウトレットパーク 大阪門真

日常と非日常のお買い物を両方楽しめる「三井ショッピングパーク ららぽーと・三井アウトレットパーク」の新業態。当社は、**企画や基本構想などの初期段階から携わり、共用空間、キッズゾーンやフードコートなど様々なエリアの空間づくりも行いました。**食の一大ゾーンにある「黒門市場」公認の市場エリアでは、大阪ミナミの歴史ある市場を体現した空間づくりを行い施設の注目エリアとなっています。



所在地：大阪府門真市

クライアント：三井不動産株式会社

担当業務：調査・企画・MD、基本構想・マスタープラン、内装/環境 設計、施工、外装デザイン

4

補足説明資料

決算状況の補足説明事項

適用為替レート

2022 2Q:TWD 4.28 / SGD 90.16 / CNY 18.96 / VND 0.0051

2023 2Q:TWD 4.42 / SGD 101.02 / CNY 19.45 / VND 0.0057

現金及び現金同等物の定義

現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

企業概要

会社名	株式会社船場（英文名称：SEMBA Corporation）
代表者	代表取締役社長 八嶋 大輔
創 業	1947年（昭和22年7月）
設 立	1962年（昭和37年2月）
所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館 9F
事業内容	<p>空間創造における調査・分析、コンセプトメイキング、企画・コンサルティング、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出、メンテナンスならびに施設運営。</p> <p>大型商業施設や飲食店といった商空間から、オフィス、教育、ヘルスケアなど幅広い分野において、国内および海外5拠点で事業を展開。「未来にやさしい空間を」をミッションに、空間創造の全プロセスを一貫してサポートいたします。</p>
従業員数	当社379名 グループ518名 （2023年6月末）

展開拠点 アジア圏に広がるグループネットワーク

海外拠点

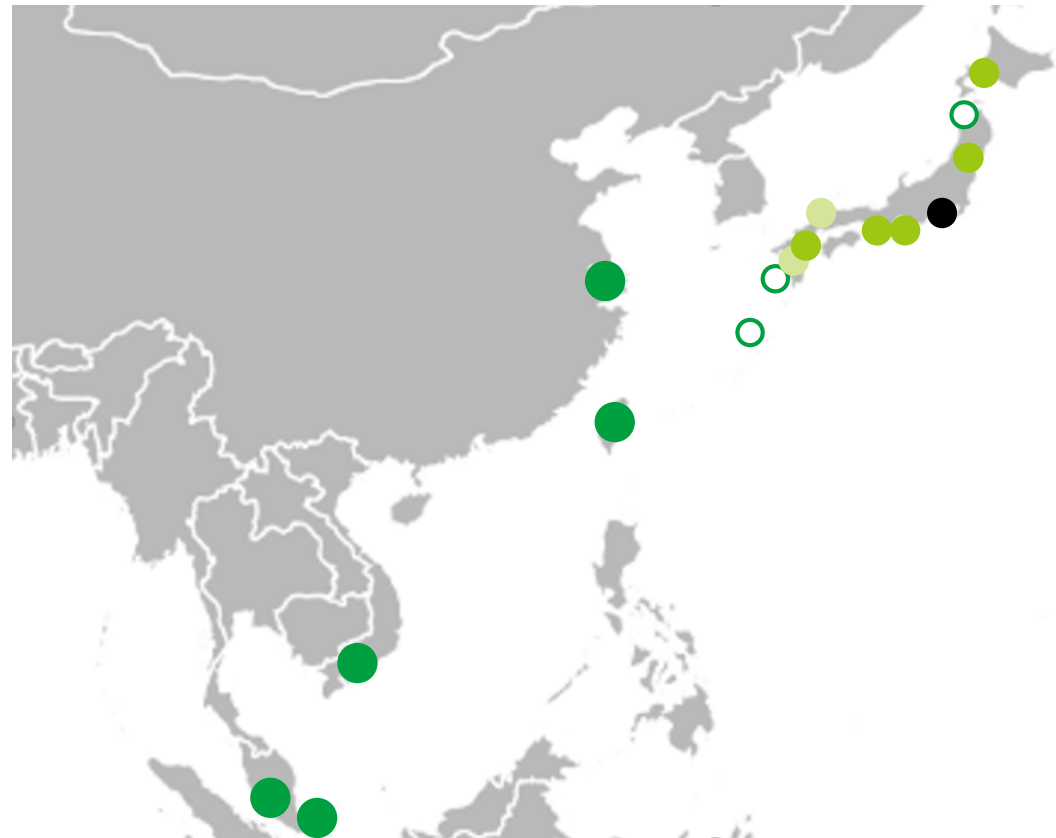
台湾（1987年設立）

シンガポール（1990年設立）

上海（2006年設立）

ベトナム（2013年設立）

マレーシア（2019年設立）



東京本社

支店

札幌・仙台
名古屋・大阪・福岡

生産工場

島根・熊本

地域法人

青森・鹿児島・沖縄

VISSION 目指す姿

Good Ethical Company

空間創造で培ってきた人への配慮や思いやりの姿勢を、地域や環境にまで広げ
より良い社会の構築を目指すエシカルな存在になります。

さらに、私たちの想いに共感する仲間を増やし、循環型社会の共創を目指します。

MISSION 社会で実現したいこと

未来にやさしい空間を

利便性や効率、見た目だけを考えるのではなく

サステナビリティを意識した

地球に負荷をかけないという本質的な価値を持つ空間を未来に残していきます。

【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。

これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、その実現を保証するものではありません。

実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画部

E-mail : ir@semba1008.co.jp

Make a New Wave!